

## 4-6 松代における歪の永年変化と東海地方5か所の埋込式歪計の観測結果

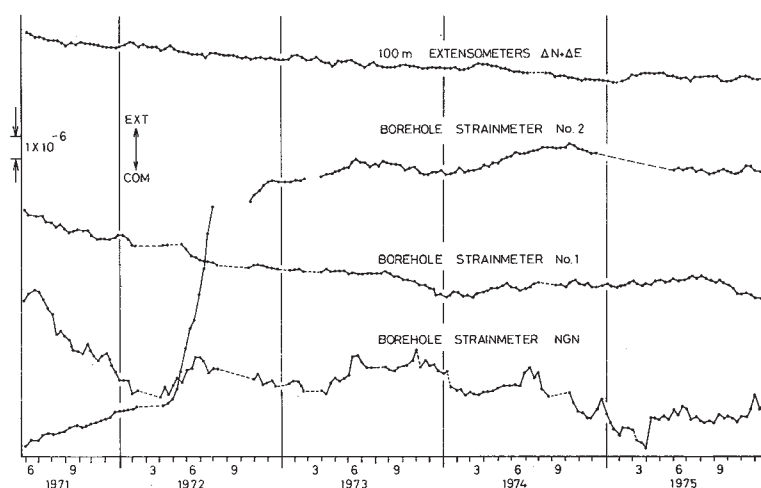
### Secular Strain Change at Matsushiro and Strain Change Observation in the Tokai Region by Five Borehole Strainmeters.

気象庁 地震課

Seismological Division, Japan Meteorological Agency

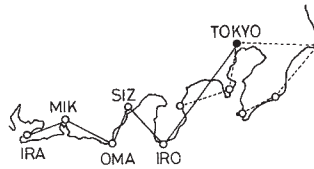
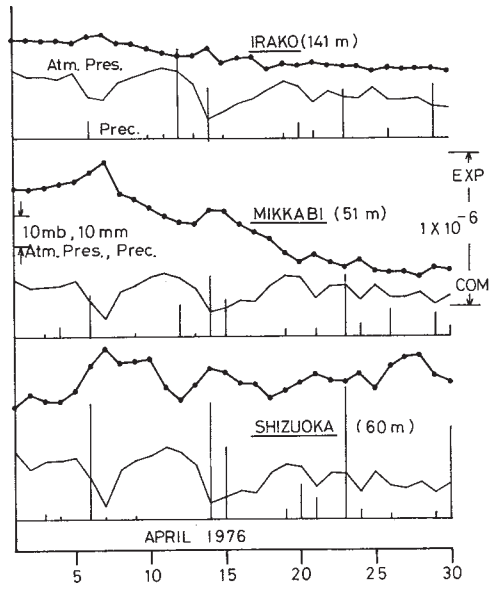
第1図は松代地震観測所構内2点（距離300m）と長野市大峯山（距離15km）の3点におけるサックス・エバートソン型埋込式歪計による体積歪の永年変化（1971年～1975年）、松代における100m水晶管式伸縮計による観測結果を併記してある。2点アースによる静電的影響をまぬがれなかったNo.2以外は十分な安定性を示し、水晶管式伸縮計の結果とよく一致している。長野（NGN）にノイズの多いのは谷川のごく近くに埋設されているためと考えられる。

第2, 3図は昭和50年度に東海地区の5点（伊良湖, 三ヶ日, 御前崎, 静岡, 石廊崎）に埋設した埋込式歪計の1976年4月の日平均変化図, 気圧の日平均値（Atm. pres.）と雨量（prec.）が併記してある。浅い観測井ほど気圧の影響を大きく受けている。この観測期間においては雨による影響はまずなさそうである。御前崎と石廊崎は大きな縮みを記録しているが観測期間が短いので、有意なものかどうかはわからない。



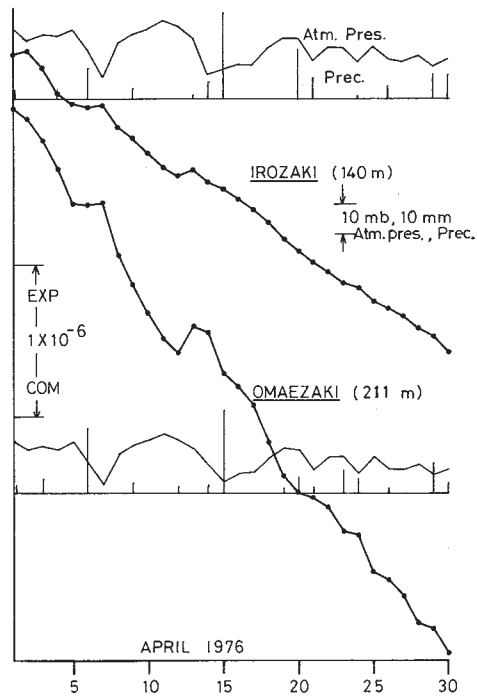
第1図 伸縮計と埋込式歪計で観測した松代における歪の永年変化

Fig. 1 Secular Strain Change at Matsushiro Observed by Extensometers and S · E Borehole Strainmeters



第2図 埋込式歪計で東海地方で観測している歪の変化

Fig. 2 Strain Change Observation in Tokai Region by Five Borehole Strainmeters.



第3図 埋込式歪計で東海地方で観測している歪の変化

Fig. 3 Strain Change Observation in Tokai Region by Five Borehole Strainmeters.